

カメラをご利用になる前に	6-2
カメラ利用時のご注意	6-2
画像データの保存形式／保存場所	6-2
カメラモードと撮影スタイルについて	6-3
カメラモードと画像サイズについて	6-3
撮影画面の見かた	6-4
静止画の撮影	6-7
ビューアスタイルで撮影する	6-7
ノーマルスタイルで撮影する	6-8
動画の撮影	6-8
撮影時の機能	6-9
ピントを固定して撮影する（オートフォーカスロック） ...	6-9
動く被写体にピントや露出を合わせて撮影する （タッチAF/AE／追尾AF）	6-9
ズーム機能を使用する	6-10
フラッシュを使用する	6-11
セルフタイマーを使用する	6-12
連写撮影する	6-12
人数や表情に合わせて自動的に撮影する （オートシャッター）	6-13
場面に適した撮影モードに切り替える	6-14
ピントを合わせたい対象物を特定する （フォーカス設定）	6-15
撮影した静止画／動画の確認	6-16

カメラをご利用になる前に

本機は約13.2メガピクセルCMOSカメラ（オートフォーカス機能付き）を搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

- ピクチャアルバム（☞P.10-24）を利用すると、撮影した静止画を多彩なエフェクトやスライドショーで楽しむことができます。

カメラ利用時のご注意

- レンズが指紋や油脂などで汚れているとピントが合わなくなります。汚れたら柔らかい布できれいにふいてください。
- 本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。動くとも画像が乱れる原因となります。薄暗い場所では特に乱れやすいのでご注意ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- カメラ起動中はフラッシュが点灯／点滅します。点灯／点滅は消せません。

カメラ撮影時の撮影音について

マナーモードなどの設定にかかわらず、撮影時は音（シャッター音やセルフタイマー音）が鳴ります。音量は変更できません。

- シャッター音を変えるには（☞P.18-16、P.18-17）

お知らせ

- 電池残量が不足していると、カメラは起動できません。
- カメラ起動中に着信やアラーム動作があったり、電池残量が不足したりするとカメラは終了します。撮影したデータを保存する前に終了した場合でもデータは保持されています。また、動画の場合はカメラ終了まで撮影していたデータが保持されています。再びカメラが起動したときにデータを保存してください。
- 起動後に約3分間何も操作しないとカメラは自動的に終了します。
- /で起動／撮影する場合は、/をしっかりと押し込んでください。

画像データの保存形式／保存場所

撮影した静止画／動画はデータフォルダに保存されます。

撮影画像	保存形式	保存場所
静止画	JPEG (.jpg)	ピクチャーフォルダのカメラフォルダ
動画	MPEG-4 (.3gp) ／ASF (.asf)	ムービーフォルダのカメラフォルダ

- microSDカードに保存する場合は、保存先設定を切り替えてください。（☞P.18-16、P.18-17）
- メモリ容量を確認するには（☞P.18-16、P.18-17）

お知らせ

- 動画容量設定（☞P.18-17）を長時間に設定すると、自動的にmicroSDカードに保存されます。

カメラモードと撮影スタイルについて

カメラモード		ノーマルスタイル	ビューアスタイル
静止画	デジカメモード	○	○
	フォトモード	○	—
動画	ビデオカメラモード	○	—

お知らせ

- 待受画面表示中にビューアスタイルに切り替えるとカメラを起動させるように設定できます。(スタイル連動設定 P.18-7)

カメラモードと画像サイズについて

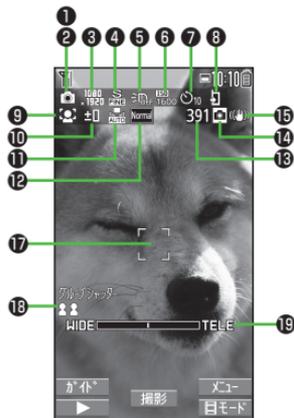
カメラモード	アイコン	画像サイズ	
デジカメモード		13M	
		9.7Mワイド	
		正方形(大)	
		8M	
		5M	
	連写		3M
			2Mワイド
			2M
			待受
			VGA
		正方形(小)	
フォトモード		3M	
		2Mワイド	
		2M	
		待受	
	連写		VGA
			QVGA
			QCIF
		Sub-QCIF	
ビデオカメラモード		VGA	
		HVGAワイド	
		QVGA	
		QCIF	
		Sub-QCIF	

撮影画面の見かた

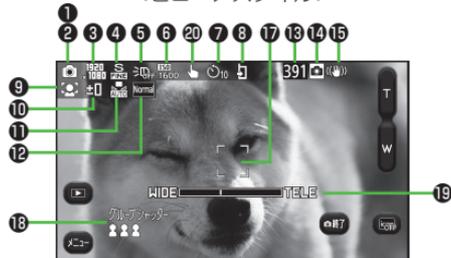
●画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

■ デジカメモード

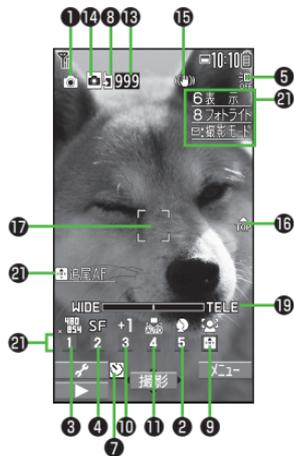
<ノーマルスタイル>



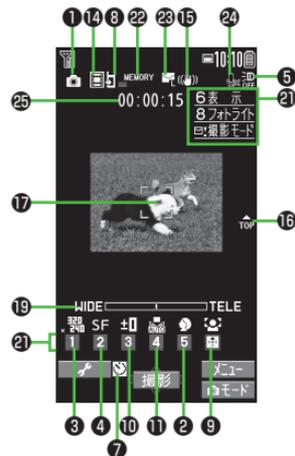
<ビューアスタイル>



■ フォトモード



■ ビデオカメラモード



ボタンガイダンスについて

- ノーマルスタイルのデジカメモードの場合は、 [ガイド] を押しとボタン操作を表示します。
- フォトモード/ビデオカメラモードの場合は、次の操作でそれぞれの設定の切り替えができます。
 - ・ で表示されている数字やマークのボタン (→ で項目を選択)
 - ・ [] → で設定を選択 → で項目を選択

- 主にデジカメモードのアイコンを記載しています。カメラモードや設定によっては、表示されなかったり実際のアイコンと異なる場合があります。

項目	説明
① 撮影モード (👉P.6-14)	インテリジェントオート 通常撮影 シーン Myオリジナル (シーン/Myオリジナルの場合は、設定によってアイコンが変わります。)
② シーン	ポートレート スポーツ 料理 風景 ナイトモード 逆光 文字 雪 夕焼け ペット
③ 画像サイズ	画像サイズを表示 (👉P.6-3)
④ 画質	ノーマル ファイン スーパーファイン
⑤ フォトライト設定	ON OFF
⑥ ISO設定 (👉P.18-16)	200 ~ 12800 オート~12800オート
⑦ セルフタイマー	デジカメモード: 10秒 2秒 フォトモード/ビデオカメラモード:
⑧ 保存先設定	本体 microSD
⑨ フォーカス設定 (👉P.6-15)	顔認識 オート 接写 風景 追尾AF
⑩ 明るさ調節	撮影画面の明るさを調節 (レベル-3~+3)
⑪ ホワイトバランス	オート 晴天 曇天 電球 蛍光灯
⑫ 色調切替	通常 セピア 白黒 ヴィヴィッド ナチュラル 美白 日焼け
⑬ 撮影可能枚数	残りの撮影可能枚数を表示
⑭ カメラモード切替	デジカメ/フォトモード ビデオカメラモード デジカメモードの連写モード / / フォトモードの連写モード (オート/オートブラケット/マニュアル)
⑮ 手ブレ補正	自動的に手ブレを補正
⑯ 天地アイコン	撮影時の上下方向を表示
⑰ フォーカスガイド	オートフォーカスガイド 追尾AFガイド
⑱ オートシャッター (👉P.6-13)	/ / ラブシャッター (お友達/恋人/恋人+笑顔) グループシャッター (設定した人数) 笑顔シャッター

	項目	説明
19	ズームバー	ズームレベルを表示 (P.6-10)
20	タッチAF/AE (P.6-9)	 有効  無効
21	ボタンガイドンス	ボタン操作を表示
22	使用メモリ量バー	メモリ使用状況の目安を表示 (メモリがいっぱいのときは赤で表示)
23	動画容量設定	 メールモード(小)  メールモード(大)  長時間
24	撮影種別設定	映像のみを録画
25	録画可能時間	録画可能時間の目安

静止画の撮影

静止画は、デジカメモードまたはフォトモードで撮影できます。

インテリジェントオートについて

撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されま
す(例：顔認識)。

- 顔認識について (P.6-15)
- インテリジェントオート以外の撮影モードを選択しても (P.6-14)、次回デジカメモードまたはフォトモードでカメラを起動すると、インテリジェントオートに戻ります。

ビューアスタイルで撮影する

ビューアスタイルでは、横画面のデジカメモードで静止画を撮影します。

1 「罫」 タブ→カメラ→デジカメモード

静止画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示→ (On/ψ)

撮影するとシャッター音が鳴り、ポストビュー画面が約2秒間表示されます。

撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影した静止画をすぐに確認するには： →撮影画面に戻
るには 

■ 撮影画面でできること



静止画撮影画面 (デジカメモード)

項目	説明
① ピクチャアルバム起動	ピクチャアルバムを起動して、撮影した静止画を表示 ●そのままスライドショーなどの機能を利用できます。(P.10-27) ●  をタッチすると、撮影画面に戻ります。
② メニュー	機能メニューを表示
③ ズーム	ズームレベルを変更
④ カメラ終了	カメラを終了
⑤ アイコン表示	アイコンの表示/非表示を切り替え

■ ポストビュー画面 (オートレビュー) について

デジカメモードで撮影すると、ポストビュー画面が表示され、撮影した静止画を確認できます。

- ポストビュー画面を表示しないようにしたり、表示時間を変えることもできます。(オートレビュー P.18-16)
- オートレビューを**ホールド**に設定すると、ポストビュー画面が表示されたままになります。その場合、をタッチすると撮影画面に戻ります。
- オートレビューの設定に関わらず、撮影した静止画は自動的に保存されます。

ノーマルスタイルで撮影する

ノーマルスタイルでは、縦画面のデジカメモードまたはフォトモードで静止画を撮影できます。

ここでは、フォトモードでの撮影方法を説明します。

1 [カメラ] / [カメラ] (カメラ)

デジカメモードの静止画撮影画面が表示されます。

2 [Y] [メニュー] →

カメラモード切替 →

フォトモード

フォトモードの静止画撮影画面が表示されます。

3 被写体を画面に表示 →

[撮影] / [シャッター] / [カメラ]

撮影するとシャッター音が鳴ります。
撮影した静止画は自動的に保存されます。

- 撮影した静止画をすぐに確認するには：
[戻る] [再生] →撮影画面に戻るには
[戻る] [カメラ]

4 カメラを終了するには、[戻る]

待受画面に戻ります。



静止画撮影画面
(フォトモード)

お知らせ

- 自動保存設定 (P.18-16) をOFFにすると、フォトモードで撮影した静止画を確認してから保存できます。

動画の撮影

ノーマルスタイルのビデオカメラモードで動画の撮影ができます。

1 [カメラ] (長押し)

動画撮影画面が表示されます。

2 被写体を画面に表示 →

[撮影] / [シャッター] / [カメラ]

撮影開始音が鳴り、「●REC」が表示されます。

3 撮影を終了するには、

[終了] / [シャッター] / [カメラ]

撮影停止音が鳴ります。
撮影した動画は自動的に保存されます。
●記録可能時間を超えると、撮影は自動的に終了します。

4 ビデオカメラを終了するには、[戻る]

待受画面に戻ります。



動画撮影画面

お知らせ

- デジカメモードとビデオカメラモードは [カメラ] / [カメラ] で切り替えられます。
- 自動保存設定 (P.18-17) をOFFにすると、撮影した動画を確認してから保存できます。

撮影時の機能

- スタイルに関わらず可能な機能については、主にノーマルスタイルでのデジカメモードの操作を記載しています。ビューアスタイルやフォトモード／連写モード／ビデオカメラモードでは実際の画面表示や操作と異なることがあります。

ピントを固定して撮影する (オートフォーカスロック)

画面中央の被写体（「顔認識」の場合は人物の顔）にピントを合わせて固定します。

固定したあとに構図を変えることもできます。

- 1 撮影画面で、/または(/)（半押し）ピントが合うと「ピピッ」と鳴り、フォーカスガイドが緑色に変わります。
 - ピントが合わなかった場合はフォーカスガイドが赤色になります。
 - /で固定したピントを解除するには：
 - /で固定したピントを解除するには：()から指を離す
- 2 画面を見ながら構図を決める
- 3 各カメラモードに従って撮影する
 - 手順1で（半押し）でピントを固定した場合、そのままを深く押しと、撮影できます。

動く被写体にピントや露出を合わせて撮影する (タッチAF/AE／追尾AF)

被写体に追尾AFガイドを合わせると、被写体の動きを追いかけピントや露出を合わせ続ける追尾状態になります。追尾状態で被写体の位置にピントや露出を固定して撮影できます。

お知らせ

- 被写体が撮影画面の外に出たときなど、被写体を追尾できなくなった場合は、追尾状態が解除されます。
- 撮影状況によっては、被写体を追尾できない場合や他の被写体を追尾する場合があります。
- オートシャッター利用中や撮影サイズによっては利用できません。

タッチAF/AEで撮影する（ビューアスタイル時のみ）

- タッチAF/AE機能が無効の場合は利用できません。（P.18-16）

1 撮影画面で、被写体をタッチ

追尾AFガイドが表示され、被写体を認識すると黄色に変わって追尾状態になります。

- 追尾状態を解除するには：



2 撮影するには、（）

追尾AFで撮影する（ノーマルスタイル時のみ）

- 1 デジカメモードまたはフォトモードの撮影画面で、
追尾AFガイドが表示されます。

- 2 被写体に追尾AFガイドを合わせて、

被写体を認識すると追尾AFガイドが黄色に変わって追尾状態になります。

- 追尾状態を解除するには： / 

- 3 撮影するには、

 **[撮影]** /  /  ( / )

-  () (半押し) でピントを固定してから、 () を押して撮影することもできます。



ズーム機能を使用する

- 1 撮影画面で、 (望遠) /  (広角)
●連続してズームレベルを調節するには： (長押し)

お知らせ

- 広角／望遠にすると画質は多少変化することがあります。

各画像サイズにおけるズームの最大倍率

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
デジカメ	13M	21段階	約2.0倍
	9.7Mワイド	21段階	約2.0倍
	正方形(大)	21段階	約2.0倍
	8M	21段階	約3.0倍
	5M	21段階	約3.0倍
	3M	21段階	約6.0倍
	2Mワイド	21段階	約6.0倍
	2M	21段階	約6.0倍
	待受	21段階	約6.0倍
	VGA	21段階	約6.0倍
連写	正方形(小)	21段階	約6.0倍
	3M	21段階	約3.0倍
	2Mワイド	21段階	約3.0倍
	2M	21段階	約3.0倍
	待受	21段階	約3.0倍

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	3M	21段階	約3.0倍
	2Mワイド	21段階	約3.0倍
	2M	21段階	約3.0倍
	待受	21段階	約3.0倍
	VGA	21段階	約3.0倍
	QVGA	21段階	約6.0倍
	QCIF	21段階	約10.8倍
	Sub-QCIF	21段階	約16.3倍
連写	VGA	21段階	約3.3倍
	QVGA	21段階	約6.5倍
	QCIF	21段階	約10.8倍
	Sub-QCIF	21段階	約16.3倍
	ビデオカメラ	VGA	21段階
HVGAワイド		21段階	約1.6倍
QVGA		21段階	約2.2倍
QCIF		21段階	約3.7倍
Sub-QCIF		21段階	約4.7倍

フラッシュを使用する

《お買い上げ時》OFF

暗い場所などで撮影するときに、フラッシュを補助光として点灯させるかどうかを設定します。

1 撮影画面で、[メニュー]→フラッシュ設定→ON/OFF

お知らせ

- 電池残量が不足していると、フラッシュは使用できません。
- 近くで撮影したりフラッシュ付近を持って撮影すると、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

セルフタイマーを使用する

1 撮影画面で、[メニュー]→セルフタイマー→ 10秒/2秒

- デジカメモード以外の場合：[メニュー]→
セルフタイマー設定→ON→作動時間（秒）を入力

2 [撮影] / / (/)

セルフタイマー音が鳴り、設定している作動時間経過後に撮影が始まります。

- タイマー動作中に  [中止] または  を押すと撮影画面に戻ります。タイマーは解除されません。

お知らせ

- 連写モード設定が **マニュアル** の場合はセルフタイマーで撮影できません。
- 撮影が終了すると、セルフタイマーは **OFF** になります。

連写撮影する

デジカメモードで連写撮影する

デジカメモードでは、画像サイズによって、6枚または8枚の静止画を連続して撮影できます。

1 デジカメモードの撮影画面で、[メニュー]→ 連写設定→連写

2 被写体を画面に表示→ [撮影] / / (/)

連続撮影を開始します。
確認のためのポストビュー画面が表示されます。

3 1枚ずつ保存する場合

静止画を選んで [保存]

- 拡大表示するには：静止画を選んで  [拡大表示] (→  で
前後の静止画を表示) → 保存するには  [保存]

全て保存する場合

[全保存]

- 保存せずに連写の撮影画面に戻るには：

お知らせ

- ビューアスタイルの場合、ポストビュー画面で静止画をタッチして拡大表示しているときにもう一度タッチすると、ポストビュー画面に戻ります。

フォトモードで連写撮影する

画像サイズや連写設定（☞下記）によって、最大20枚の静止画を連続して撮影できます。

- 1 フォトモードの撮影画面で、[メニュー]→**カメラモード切替→連写モード**
- 2 被写体を画面に表示→[撮影]//☐(CM/PS)
撮影したすべての静止画は自動的に保存されます。

■ 連写撮影の設定を変更する

- > 上記手順1のあと、[メニュー]→**連写設定**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
連写モード設定	> 項目を選択 ・ オート ：複数の静止画を自動で撮影します。 ・ マニュアル ：1枚ずつ手で撮影します。 ・ オートブラケット ：1枚ずつ明るさや色調を変えて9枚の静止画を自動で撮影します。
撮影間隔	連写モード設定が オート 時の撮影間隔を設定します。 > 撮影間隔を選択
撮影枚数*	連写モード設定が オート / マニュアル 時の撮影枚数を設定します。 > 撮影枚数を入力

- ※ 撮影枚数は画像サイズによって以下のように変わります。
- ・VGA(480×640)：4枚（撮影枚数の変更はできません。）
 - ・QVGA(240×320)：5～10枚
 - ・QCIF(144×176)：5～20枚
 - ・Sub-QCIF(96×128)：5～20枚

人数や表情に合わせて自動的に撮影する (オートシャッター)

デジカメモードの撮影モードが**インテリジェントオート**または**フォーカス設定が顔認識**の場合、認識した顔の人数や距離を判別して自動で撮影します。

- 1 デジカメモードの撮影画面で、[メニュー]→**オートシャッター**→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
OFF	オートシャッターの設定を解除します。
ラブシャッター	2人までの顔を検出し、顔の距離が接近したときに自動で撮影します。 > お友達/恋人/恋人+笑顔 ● 恋人 に設定した場合、 お友達 に設定した場合より距離が近くなります。
グループシャッター	1～5人までの顔を検出します。設定した人数以上の顔を検出するとセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影します。 > 人数を選択
笑顔シャッター	検出した顔が笑顔になったときに撮影します。複数の顔を検出した場合、黄色のフォーカス枠で表示されている人の顔が笑顔になったときに撮影します。

お知らせ

- オートシャッター設定中でも、[撮影]//☐(CM/PS)で撮影できます。
- 撮影が終了すると、オートシャッターは**OFF**になります。

場面に適した撮影モードに切り替える

《お買い上げ時》

デジカメモード/フォトモード：インテリジェントオート

連写モード/ビデオカメラモード：通常撮影

- 1 撮影画面で、[メニュー]→**撮影モード**→
項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
インテリジェントオート*	撮影シーンを自動で認識し、最適な設定でおまかせ撮影ができます。シーンを判別すると、アイコンがアニメーション表示されます（例：  顔認識）。 ●オートフォーカスロックを行ったあとは撮影モードは切り替わりません。インテリジェントオートを利用するには、オートフォーカスロックを解除してください。
通常撮影	標準のモードで撮影します。
シーン	撮影する場面や環境を選択することで、画像に適した明るさや色調に調節します。 > 項目を選択
Myオリジナル*	Myオリジナル設定として登録した設定で撮影します。 > 設定を選択（→デジカメモードの場合、 この設定で撮影 ） ●Myオリジナル設定を登録するには（  右記）

※ 静止画撮影時のみ

お知らせ

- デジカメモード以外の場合、[]（長押し）→で項目を選択して切り替えることもできます。

Myオリジナル設定を登録する

お好みの撮影設定を、デジカメモード、フォトモード、連写モードでそれぞれ3件まで登録できます。

■ デジカメモードで登録する

- > [メニュー]→**撮影モード**→Myオリジナル→設定を選択→
現在の設定を保存→YES→OK

■ フォトモード/連写モードで登録する

- > []（長押し）→Myオリジナル設定→
各項目の操作を行う（下記参照）

項目	操作・補足
設定を保存する	> 設定を選んで  [保存]（→確認画面が表示された場合、YES）→タイトルを編集
保存した設定を呼び出す	> 設定を選択
保存した設定のタイトルを編集する	> 設定を選んで  [編集]→タイトルを編集
保存した設定の詳細を確認する	> 設定を選んで  [詳細]
保存した設定を削除する	> 設定を選んで  [削除]→YES

ピントを合わせたい対象物を特定する (フォーカス設定)

【お買い上げ時】

デジカメモード／フォトモード／ビデオカメラモード：顔認識
連写モード：オート

撮影モードがインテリジェントオート以外の場合は、撮影シーンに合わせてフォーカス設定が選べます。

設定に応じて撮影前に自動的にピントを合わせます。

1 撮影画面で、[メニュー]→フォーカス設定

- デジカメモード以外の場合：[メニュー]→撮影設定→フォーカス設定

2 項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
顔認識	人物の顔にピントを合わせます。
オート	自動的にピントを合わせます。
接写	近くの物にピントを合わせます。
風景	遠い風景にピントを合わせます。
追尾AF	被写体を自動で追尾し、ピントを合わせます。 ●追尾AFで撮影するには（  P.6-10）

- カメラモードによっては選択できないものもあります。

お知らせ

- 約10cm以上の距離でピントが合います。
- ノーマルスタイル時は、撮影画面でを押すと、フォーカス設定を選択できる状態になります。
- 撮影モードがインテリジェントオートの場合は、で追尾AF切り替えができます。
- フォーカス動作中はカメラ部から動作音が発生します。以下の場合はピントを自動的に合わせるため、フォーカス動作音が断続的に発生します。
 - ・フォーカス設定が**追尾AF**の場合
 - ・撮影モードが**インテリジェントオート**の場合
 - ・動画撮影中

「顔認識」について

- 約1.7m以内の人物の顔を最大5人まで検出できます。
- 人物の顔を検出すると黄色のフォーカスガイドを表示します。
- 顔を複数検出した場合は、自動的に1人の顔にピントを合わせます。（ピントの合った顔のフォーカスガイドが黄色になります。）
- 顔が以下の条件のときは検出できない場合があります。
 - ・横や斜めを向いたり、傾いたりしている
 - ・眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
 - ・画面全体に対して顔が極端に小さい、大きい、暗い
 - ・画面の端に顔がある
 - ・被写体や本機の動きが速い
- 検出に失敗した場合は、オートフォーカスで撮影されます。

